

身近・安心・便利な暮らし、日本一「こちよい」まちへ



北陸の際立ったまちを目指して

ひびく・まちづくりのレベルアップ

子どもたち、みんなの夢のために

成長

- ◆もっと全国トップレベルの出産・子育てしやすいまちに
 - 平成23・24年度に続き、**保育料を引き下げ**、経済的負担を軽減(国の基準に対し67%から61%へ減)
 - 子どもの医療費**における自己負担を軽減
 - 子どものインフルエンザ予防接種助成を新設
 - 幼稚園の就園支援をさらに拡充
 - 充実している不妊不育治療支援や妊産婦・乳児の健診を継続実施
 - 子育て家庭の相談支援を拡大

- ◆子どもたちが夢を描き成長できる環境づくり
 - 最先端3D映像、不思議な科学技術教室、面白い企画イベントで、理科大好き青年の育成(**サイエンスヒルズこまつ**)
 - 保育園・幼稚園でオリジナルの**理科教室**を大学と連携実施
 - タブレットなどの機器を増設し、**ICT教育**を強化
 - 小中学校プール改修や芝生化、リニューアルなど教育環境を向上
 - 子どもたちが仕事を楽しく実体験

- ◆女性の活躍を応援
 - さらなる**ワーク・ライフ・バランス**を目指し、育児・介護休業からの職場復帰支援制度を創設
 - 女性起業サポートを拡大し、**女性経営者育成「ウーマンマネジメントスクール」**を開講

◆出産・子育てしやすいまち



※人口5万人以上の市区
 出典：週刊東洋経済「日本のいい街2012」



安心で楽しくスマートな住みよいまちに

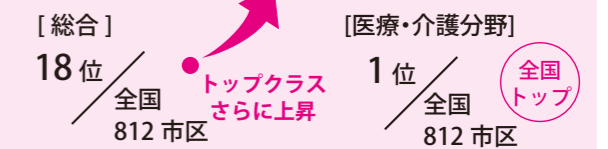
暮らし

- ◆身近で安心の医療・福祉・防災
 - 消防救急**デジタル無線化**で、救急医療との連携を格段に向上
 - 地域医療ネットワーク**により市民病院と地域医療機関との連携強化(H26.2運用開始)
 - これまで構築した**身近な相談機能**で、家族みんなの**生涯をサポート**(発達支援・高齢者総合相談・DV・学業支援・就労支援・閉じこもり・引きこもり・成年後見人)
 - 手話の指針を策定し、市全体に普及啓発
 - ICTを活かした**防災行政無線**について各家庭での運用を開始
 - 地域を守る消防団の活動支援を拡充
 - 結成率100%自主防災組織の**連携訓練**を促進
 - 発電機など防災備蓄を充実
 - 河川や排水路改修など**浸水対策**を強化

- ◆エンjoy・スマートライフを応援
 - 健康長寿、シニアの生きがいづくり
 - ・**生涯学習**を強化し、**生きがいづくり**を促進
 - ・学校プールを活用した**健康づくり**を大学と共同研究
 - ・ロコモティブシンドロームや認知症に対応した**新しい健脚体操**を大学と協働で考案し展開
 - ・入浴補助券をパスポートに変更し、外出や健康づくりを促進
 - 環境プランを改訂。各種政策の展開で**省エネやエコの未来都市づくり**を推進
 - 空き家対策**で快適な地域コミュニティを形成
 - 生活路線バスを維持確保
 - 地域コミュニティの活動拠点を整備
 - 定住促進支援における**3世代・準3世代メニュー**を拡充
 - ビジネス・観光での利便性向上へ公衆無線LANの整備促進



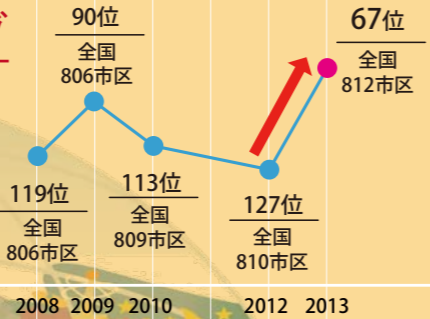
◆高齢化対応度



※全国市区「高齢化対応度」調査(日本経済新聞社産業地域研究所実施)
 出典:H25.11.4号「日経グローバル」

住みよさランキング

※出典：東洋経済新報社
 東洋経済別冊「都市データバック」



まちづくりに魂を込める行政へ

改革

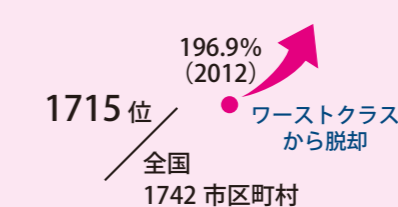
◆市民から評価される市役所づくり

- 新幹線小松開業などこれからの大きな環境変化を勘案し、**次の10年に向けたビジョン**を策定
- 市民力を活かしたふるさと創りや、観光・6次産業・ものづくりの一体的な取り組みを一層進めるため、**機動力の高い組織機構**に見直し
- ICTによる利便性向上と仕事のスピードアップ**
 - ・水道料金に続き、H26.4より市税のコンビニ支払いをスタート
 - ・さらに、住民票などの証明交付に向け準備開始 (H28.1予定)
 - ・文書管理のシステム化を進め、電子決裁など促進
 - ・3D-CADによる設計監理を拡大実施
- 庁舎のLED照明化による省エネ推進
- 職員定数の適正化や職員育成、業務改善の展開で、行政コストの低減と仕事のスピードアップ

◆安心の財政基盤へ

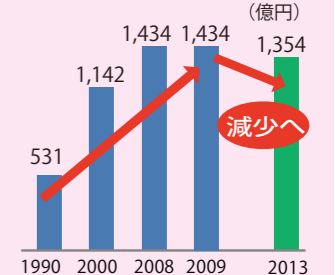
- 市借金を継続して圧縮し、**将来負担を軽減**(△26億円)
- 土地開発公社の時価簿価差の解消を推進

◆将来負担比率



出典：総務省
 「平成24年度地方公共団体の主要財政指標」

◆市債残高



新幹線金沢開業・全国植樹祭を機に 北陸の国際都市へ

小松市 2020 Spirit & Movement～東京オリンピック・パラリンピック開催決定を機に～

北陸の成長を引っばるターミナルに

発展

- ◆北陸のハブ「小松空港」の機能強化
 - 国際線の拡充と乗継による航空便の機動力向上
 - 飛行機ミュージアム「航空プラザ」の体験機能強化や「空の駅」とスポーツ広場・展望広場で、空港周辺の賑わいを創出
- ◆人・モノ・文化が交差する南加賀のターミナル「JR小松駅」
 - 新幹線金沢駅との連絡を強化(スムーズで低コストな乗継・車両広告)
 - 小松駅や空港からの2・3次交通の利便性・機能性を向上
 - 「サイエンスヒルズこまつ」グランドオープン。「科学と交流」でこまつ杜ゾーンが際立ったエリアに
 - 旧大和小松店跡地活用の継続検討
 - 観光・交流などにおいて、南加賀や加賀地域での広域による取り組みを加速
- ◆南部の交流拠点「JR栗津駅」周辺の整備促進



平成29-30年
那谷寺・粟津温泉1300年 2018



平成28年
曳山子供歌舞伎250年

2016

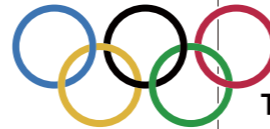


平成32年

東京オリンピック・パラリンピック



2020



TOKYO ● 2020

◆国内外で躍動するアスリートを育成

- 新たに大学とも連携したアスリート育成
- 機能を拡充した小松運動公園を中心に、スポーツ大会・合宿の誘致強化
- 合わせて、地元競技者との交流を促進し、指導力・競技力を向上
- NTCカヌー拠点として機能を強化



◆北陸で際立つ国際都市に

- 姉妹都市・友好都市との交流を拡充
- 加えて、提携40周年のビルボード市とは記念事業を展開(庭園の相互寄贈)
- 新たに海外都市との教育・文化交流を拡大
- 観光や国際会議など、MICE誘致を促進
- グローバルゼミナールを継続実施し、子どもたちの国際理解を向上
- 留学生とも連携し、異文化に対応したまちづくりを実施(ソフト&ハード)

躍動

歴史ある伝統文化を活かし、新しい小松文化を創造

進化

◆曳山250年。「歌舞伎のまち」を次の時代に

- 小松文化の代表「子供歌舞伎」。お旅まつりや全国フェスティバルなど通年で小松文化を国内外に発信
- さらに、次代に引き継ぐため、後継者育成を拡大
- 曳山交流館「みよっさ」を拠点に、伝統芸能の稽古や体験講座を開催
- 伝統文化の海外展開を推進
- 町家が集積する歴史街道「北国街道」の景観を向上
- 伝統工芸「九谷焼」の後継者育成を継続実施
- 歴史ある伝統的地域産材(瓦・かが杉・畳表・九谷焼・石・小松輪子)の新しい活用を促進
- 古代からのロマンあふれ、小松にしかない資源を活かした観光・交流を拡大(貴人の埴輪・滝ヶ原の勾玉・「勸進帳」安宅の関・「奥の細道」ゆかりの寺社・裏千家「仙叟屋敷」など)

第66回全国植樹祭に向けて ～豊かな自然と美しい景観を未来に～

進化

◆水郷「木場潟」を全国に誇る景勝地に -100万人構想-

- 整備中の展望休憩施設を活かし、木場潟からの霊峰「白山」眺望を全国に発信
- アクセス道路を整備。花の彩りなど親水空間の魅力を向上
- 大学、企業、市民と協働で、木場潟の環境プロジェクトを実施(植生調査、水質改善、野鳥が飛来する浮島など)
- 植樹祭で活躍する「緑の少年団」を全校下に結成し、活動を拡大

未来に贈る花いっぱいのもちづくりを市全体で推進
JR小松駅周辺や木場潟公園周辺の花装飾

あいさつと笑顔でおもてなし力向上
交通マナーアップ
環境美化で美しいまちづくり

◆「環境王国」の特色ある自然資源を活かした地域づくり

- 西保、大杉、滝ヶ原の活動拠点を活かし、里山交流を拡大
- グリーンツーリズムや大学の文化系サークルの合宿などを誘致強化
- 美しい里山地域の古民家改修で交流拠点を拡充

「風情と品格のあるまち」を目指して

平成27年
第66回全国植樹祭

平成27年
北陸新幹線金沢開業

2015

